

雪の活用に関するイベントの実施状況について

荒川区

荒川区は、4月19日（日）荒川区立あらかわ遊園において、東北大震災以来、区で取り組みを行っている東北復興支援の一環として、イベント「雪で遊ぼう」を開催しました。

イベントでは、岩手県北上市及び西和賀町から雪約8トンを運搬して、雪のすべり台や雪場などの雪の遊び場を設置しました。

当日、会場には、約3,800人が来場し、順番を待つ子どもたちの列が途切れることがなく、未就学児から中学生まで都心ではめったに降らない季節外れの雪を前に目を輝かせ笑顔で雪遊びを楽しんでいました。

また、当日は、西川区長、及川北上市副市長及び細井西和賀町長が、会場で行われるセレモニーに出席するとともに両市町のPRブースも設置され、パネル展示や観光パンフレットの配布を行いました。



江 東 区

江東区は、5月17日（日）に都立猿江恩賜公園で第27回江東こどもまつりを開催し、約12万6000人が来場しました。

昨年5月に開催された江東こどもまつりの際にも、北上市から夏油高原スキー場の雪8トンの提供を受け、雪のコーナーを設けましたが、今年度は、岩手県北上市から夏油高原スキー場の雪10トンと西和賀町から8トンの雪の提供を受け、「岩手の雪で遊ぼう」コーナーを設けました。

コーナーでは、提供された雪を利用し、来場者が直接雪と触れ合って楽しめるよう滑り台と雪山を設置しました。当日は天気も良く暑い日だったため、滑り台と雪山をみた子どもたちは、たくさんの雪があることに驚き、「どこから持ってきたの」「どうやって運んできたの」等の質問が飛び交いました。

雪のコーナーには約3,300人が来場し、日頃体験できない雪遊びを、子ども達はもちろん、大人達も楽しんでいました。

また、当日は、地域の魅力や特産品を紹介するための両市町のPRブースが設置され、両市町の観光パンフレット等の配布が行われました。



品川区

品川区は、5月24日（日）にしながわ中央公園（区役所前）で「しながわ ECO フェスティバル2015」を開催し、約3万人が来場しました。

このフェスティバルの中で、岩手県北上市及び西和賀町から雪約4トンの提供を受けて、特設会場「雪の遊び場」を設置しました。

今回、提供された雪は、会場のメインステージの前方に積み上げられ、来場者が直接雪と触れ合って楽しめるよう雪の遊び場がつくられました。

当日は、5月の強い日差しの中、午前10時から午後3時まで、順番を待つ子どもたちの列が途切れることがなく、会場は冷たい雪で遊ぶ子どもたちの熱気に包まれていました。

また、両市町の PR ブースも設置され、地域の魅力や特産品を紹介するほか、北上市周辺に伝わる伝統芸能の鬼剣舞（おにけんばい）が披露されました。

